

荏原が主力事業に積極的に投資している。風水力事業ではポンプの同業買収で海外拠点を増やす。精密・電子事業では好調な半導体製造装置、化学機械研磨(CMP)装置の生産を増強する。2023年12月期から3年間の次期中期経営計画の方向性を含め、浅見正男社長に聞いた。

「カナダの同業ハイで、アジアや欧州にワード・ゴードンを9い。当社はそれらの地域に買収した狙いは。域に販売網があり、ヘー「産業分野を強くし イワードの製品を販売たい。ハイワードは産 できる。製品や地域で業用ポンプのほか、食 重複がほぼなく、シナ品、化学、医薬の製造 シーが見込める」プロセスに使われるミ ーCMP装置は熊本キサーを手がけ、良い 県南関町に新生産棟をボシジョンにある。製 建てます。造プロセス関連は付加 「25年に稼働する計価値が高い。ただ、販 画だ。現状の半導体市場は北米・南米中心 場の見通しのままな

# 荏原、産業用ポンプ攻勢

社長 浅見 正男氏

## 製品から対面市場に軸



ら、30年ごろまでの需 要には対応できるとみ ている。需要がさらに 高まるなら、次の新棟 をどこにどう作るか、 考える時期が来るかも しない」

「CMP装置などに 要には対応できるとみ ている。需要がさらに 高まるなら、次の新棟 をどこにどう作るか、 考える時期が来るかも しない」

「半導体不足の生産 への影響は。 難が続いている」

「新規事業の水素関 への影響は。 難が続いている」

連の状況は。

「作る、運ぶ、使う のそれぞれで計画を進 めている。メタンから 作るターコイス水素は 高品質のカーボンも取 り出せる。26年の商用 化を目指しており、外 部から問い合わせが来 ている。水素関連全体 の売上高を30年に30 0億円、40年に200 0億円にする目標があ り、それぐらいはでき る」と思っている」

年のありたい姿に向 け、製品軸から対面市 場軸に変えることが大 切だ。23年から対面市 場ごとに事業セグメン トを分け直す。風水力 事業はポンプなどに分 かれていくが、対面市 場は向き合い、競争力 を高める。マーケット を再定義する」

### 理想の姿求めて、社内改革

22年12月期の売上高、営業利 益が過去最高を予想するなど業 績好調の中で、主力事業と新規 事業それぞれに必要な手を打っ ている印象だ。全社的には、ダ イバーシティ(多様性)推 進、データドリブン(駆動型) な意思決定などの改革を進める。30年のあ りたい姿に向けて会社を変える段階にあ り、これらが成果を上げられるかが問われ る。(戸村智幸)

### 記者の目